

分科会評価報告書（令和5年度決算）

（総務生活分科会 No.1）

(所管課, 事業コード) 事業名	(総務課 3202) 庁舎管理経費 ※P. 553
---------------------	------------------------------

評 価	A	(A) 十分評価できる B やや評価できる C あまり評価できない D 全く評価できない
-----	---	---

【評価に至った理由】

市民の人生100年を支える舞台を「鹿嶋」に整えるに当たり、庁舎及び交流会館の適正な維持管理と来庁者の利用しやすい環境の整備については行政が行う必要があり、事業の目的は妥当である。各種業務委託、各種工事及び警備の実施並びに光熱水費、土地借上料等の支払、消耗品の購入等についても、近年の電力高騰や物価上昇の中、効果的に行われている。築年数が50年を超える庁舎であるが、耐震補強がされ、防水補修工事等のメンテナンスもされており、適切に管理されていることから、全体的に効率性を含め十分評価できる。

今後の方向性	2	1 拡充 (2) 継続 3 改善 4 縮小 5 休止 6 廃止
--------	---	--

【今後の取り組み方と提言】

間もなく耐用年数60年を迎える庁舎は長寿命化をすれば使い続けられるかもしれないが、トータルコストとしては割高になる可能性がある。庁舎のような巨額な工事費がかかるようなものは、今後いつまで使い続けるかを含めた補修計画の検討が必要である。

また、会議室の利用がタイトになっている点も課題といえる。記者室をはじめ、庁舎内の会議室や執務室のレイアウトについて庁舎の本来の目的、来庁者の利便性、移動の効率性等の観点から再考し、場合によっては整理することにより、庁舎スペースを有効に活用することが必要である。議会においても議会図書室で会議をしたりすることがあるので、専用の会議室があるとなお有り難い。

その他の提言として、市が稼ぐという点において、庁舎駐車場へのキッチンカー等の出店を募り、出店者から市が出店料を得ることについて、近隣飲食店等に一定程度配慮しつつ、公平性を確保した上で前向きに検討すべきである。

また、各部署に設置されている営業担当者の名刺入れについては、庁舎内で1か所にまとめることを検討するのもよい。